

読者の佐藤義隆さんからのお知らせです。毎年9月10月。秩父ダリアまつりが開催されています。関東で最大のダリア園。夏の酷暑のなか玉のような汗をかきながら数人の人たちだけで頑張っていて育っています。町からの支援もなく毎年安い入場料で運営しています。「両神山麓ダリア園」良かったら訪れて、秩父に泊まってみてはいかがでしょうか。

# 紅葉台



# 新聞

第210号

2025年

11月29日

発行人：関谷 孝

## 多摩全生園（たまぜんしょうえん）で暮らす人々

映画「あん」の舞台になった「多摩全生園」は、日本のハンセン病の歴史と背景を物語っています。今回研修で訪問しましたので皆さんにも紹介したいと思います。



柵に囲まれた広大な敷地で暮らす人々。人々は広大な敷地外のことを「社会」と呼びます。築山を作り上げ、その頂上から「社会」や自分のふるさと方面を眺めました。

ハンセン病とはらい菌による感染症です。以前は不治の病とされ、らい病と呼ばれていました。現在は、偏見と差別をなくすため「ハンセン病」と改称されました。

日本は1907年には「癩予防二関スル件」の制定。1931年の「癩予防法」ですべての患者を根こそぎ療養所に収容し強制隔離・終生隔離を展開していきました。子どもを作らないようにと避妊手術を施し妊娠した場合は、七ヶ月たつていようと八ヶ月だろうと堕胎しました。治療法の無かった時代にはハンセン病は顔や指、手足などに知覚麻痺や変形をきたし隔離され、長い間偏見・差別をうけてきました。

これらのことからハンセン病問題が人権問題といわれる所以です。1996年に「らい予防法」が廃止されても長く隔離された人々はふるさとへ戻っても見知った人々のいない所よりはと、この隔離された療養所で余生を過ごしています。全国にある13の国立ハンセン病療養所には639人入所し平均年齢は88.8歳とのことです。

（2025年厚生省の調査）



らい菌の治療法も確立され、日本では現在発症する人はほぼゼロだそうです。見学に行った東村山市



にある国立療養所多摩全生園（敷地面積35万㎡東京ドーム8個分）も、今では開かれた場所であり地域の人々が自由に自転車や車で敷地内を横切っています。

行き方：西武池袋線 清瀬駅南口から西

武バス「ハンセン病資料館」下車 徒歩10分

時間：午前9時30分から午後4時30分

休館日：月曜日・祝日の翌日

細野美智子（写真）・辻井恵美子（原稿）



追伸：らい・らい病・癩病の表記は資料に準拠しています。

## 楽しい毎日 が 元気の秘訣

徳永照行（てるゆき）さん

紅葉台シニアクラブの徳永さんは、今年89歳。お年を感じさせないくらいに活動的です。眼も耳も良く、歯も1本以外は全部自分の歯なのはびっくり。それは間



食をしないからだそうです。（耳が痛い）話す言葉は黒柳徹子のように。よどみなくすらすらと早口で話します。思わず元気の秘訣を伺いたくなりました。

子どものころから父親が囲碁好きでよく見ていました。その影響で就職してから休み時間に囲碁をやり始めました。当時は、そのくらいしか娯楽がなかったとのこと。ゴルフやサッカー、水泳にも挑戦しましたが、自分には合わなかったので長続きしませんでした。囲碁に楽しみを見つけて精進し5段になりました。そのおかげで人に教えることが得意になりました。20代から始めたのですから、なんと60年以上囲碁にはまっています。

実はそれだけではありません。60歳で退職後、北野に「カルチャーサロン」を立ち上げました。自分で部屋を借り、先生を募集し、ハンティングし、教室を作って生徒を募集しました。初めは経営が大変でしたが、赤字にならない程度に経営は安定しました。しかし、84歳で教室を閉め、今は紅葉台自治会館で「囲碁将棋倶楽部」を作り囲碁の楽しい仲間とサークル活動をしています。最近はネット対戦もできるようになり日本全国の仲間と対戦しています。

まだまだそれだけではありません。一週間毎日のようにたくさん楽しいことをしています。月・卓球。火・コーラス。水・ピアノ（仲間と楽しんでいる）。木・お休み。金・ピアノ（習っている）。土・囲碁。日・囲碁。それも自分が主体となって会を運営しています。私も最近誘われて入会したコーラスのサークルでは長年会長をしています。今度近くの保育園児と歌の交流会をします。子供たちと交流することでますます元気になります。また、70歳から始めたピアノで最近、発表会をしたと生き生き話していました。（写真）



とにかく自分から進んで楽しいことを考え企画し実行しています。大変なこともあったと思いますが、くよくよせずいつも前向きでどんどん開拓するのが楽しいと話していました。その姿勢が違いますね。

「人と人を繋げる仲間づくり」「考えることで頭が良くなる」「やればできる」「代表になると責任が生まれる」とにかく意欲的。人が好き。仲間を作って楽しく生きる。そんな言葉がぴったりでした。そういう方は滅多にいません。お話を聞いてこちらまで元気になりました！！ますます元気でご活躍を！！ちなみにお連れ合いの方は旅行とガーデニング、フラワーアレンジメント、アロマセラピーが趣味だそうです。

10月・11月は、敬愛保育園の園児と歌の交流会をしました。子供たちの元気な歌声から元気をもらいました！

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。